

令和4年度 三重県精神保健福祉士協会9月例会 感想

コロナ禍によりこの数年は対面のグループワークが激減していたので、現在の三重県精神保健福祉士協会の会員の方々とイベント感覚で交流できたことは非常に新鮮でした。前半の質問を踏まえてグループワーク、という流れを用意していただいたことで、初対面同士だと沈黙が生じがちな場面でも自然と話が弾んだと思います。質問内容は、気軽に答えられるものもあれば、なかなか考えさせられるものもあり、時間をかけて練っていただいたんだろうなと感じました。特に、テーマ・PSWのグループワークでは、皆様の仕事観に触れ、日頃の精神保健福祉士としての業務を振り返ることもできて、濃い時間を過ごせました。

1回目と2回目でグループワークのメンバーが変わることで多くの方々と交流ができて良かったのですが、私としては「場に馴染んできたかな」と感じた頃合いで解散となってしまったので、個人的には2回とも同じグループだとより話が深まったように思います。

まだまだ気兼ねなく集まるのが難しい状況ではありますが、感染リスク軽減だけでなく、移動時間や場所を気にせずに参加できることが、オンラインの強みだと思います。ZOOM等をうまく使いながら、物理的距離があっても、会員同士がつながりを感じられ、お互いを励ましあえる活動を続けていけるといいなと感じました。

最後に、今回の例会開催に際して、業務の合間を縫ってご準備いただいた皆様、誠にありがとうございました。

医療法人北勢会アジサイ 大橋藍